

[取組みの方向性4] 世界とつながる新たな熊本の創造 ～世界に挑み、世界を拓く～

[施策13] 世界と熊本をつなぐヒト・モノの流れの創出

(1)現状と課題		(2)概要					(3)施策体系					(4)県民アンケート結果						
<p>人口減少が進み、国内・県内経済の規模縮小が懸念される中、成長著しいアジアをはじめとする世界に目を向けた動きが進んでいます。これまで、国際航空路線の拡充や「くまモン営業部長」を活用したプロモーション活動等により、アジアとのつながりの強化や県産品輸出の拡大に取り組んできました。熊本地震に対する応援の機運の高まりや、新たなMOUの締結、国際スポーツ大会の開催等を契機に、これらの取組みを更に強力に推進し、「KUMAMOTOブランド」として世界に展開する必要があります。</p> <p>ラグビーワールドカップ2019が、本県も含め国内12都市で開催されます。また、ハンドボール世界選手権大会は、1997年の男子大会に続き、2019年に女子大会が本県で開催されます。これらの大会を着実に成功させるとともに、大会開催のレガシーを後世に残していく必要があります。</p> <p>グローバル化が加速する中、英語等の語学力やコミュニケーション能力、異文化理解の精神等を有する人材が求められています。</p>		<p>HACCPの取組みなどによる農林水産物や加工品などの県産品の競争力向上、販路開拓・拡大などに取り組み、「KUMAMOTOブランド」を世界に展開します。</p>					<p>「KUMAMOTOブランド」の世界展開 【担当部局：知事公室・健康福祉部・商工観光労働部・農林水産部・国際スポーツ大会推進部・教育庁】</p>					<p>【満足度】</p> <p>【今後の方向性】</p>						
★重要業績評価指標(KPI)		策定時	H28	H29	H30	目標値	H	事業数	決算額	R	事業数	予算額	H	事業数	決算額	R	事業数	予算額
施策13 ①	i 海外(国別)に輸出及び進出を行った県内企業数	495 (H26)	573 <76.4%>	654 <87.2%>	759 達成	750 [社]	H30	25	1,822,224千円	R1	26	6,855,713千円						
	分析	TPP(環太平洋経済連携協定)、日本・EU経済連携協定締結を契機とした海外市場への関心の高まりに加え、海外での日本食ブームやくまモン人気などの機運を捉えた海外プロモーション等により、海外展開する県内企業が増加し、目標値を達成した。																
ii	HACCP導入施設数	27 (H27)	40 <40.0%>	63 <63.0%>	119 達成	100 [施設]												
	分析	研修会の開催回数を増加させるとともに、食品衛生協会等と連携して対象施設立入時の啓発等を更に強化したことにより、導入施設が増加し、前倒して目標を達成した。																
i	海外高校への留学者数	12 (H27)	13 <65.0%>	12 <60.0%>	18 <90.0%>	20 [人/年]												
	分析	高校生、学校、保護者向け留学説明会の開催や留学支援金給付制度の周知を行った結果、留学者は増加した。																
ii	海外大学への進学者数	18 (H27)	12 <40.0%>	7 <23.3%>	19 <63.3%>	30 [人/年]												
	分析	海外チャレンジ塾で英語力や思考力等の向上のための実践的指導等を行ったほか、高校生、学校、保護者に対し海外大学進学に関する説明会を開催した結果、進学者は増加した。																
iii	官民連携による海外研修・留学者数	47 (H27)	43 <86.0%>	42 <84.0%>	54 達成	50 [人/年]												
	分析	主に高校生の派遣者数が増加し、海外研修・留学者数は過去最高を記録。目標を達成した。																
iv	留学生(高等教育機関)の受入数	735 (H27)	685 <68.5%>	691 <69.1%>	691 <69.1%>	1,000 [人/年]												
	分析	日本語学校等の学生をターゲットにした大学コンソーシアム熊本による留学生誘致活動の結果、H29年度と同水準となった。																
v	2020年東京オリンピック強化指定選手数	45 (H27)	47 達成	29 達成	31 達成	20人以上/年(R1) 40人程度/年(~H28) [人/年]												
	分析	競技団体等との連携により、指定選手数が目標どおり推移し、また全ての指定選手が日本代表(年代別代表を含む)であるなど、より世界で活躍が期待できる選手数が増加した。																
vi	2020年東京パラリンピック強化指定選手数	20 (H27)	16 達成	13 達成	9 達成	8人以上/年(R1) 16人程度/年(~H28) [人/年]												
	分析	競技団体等との連携により指定選手数が目標どおりとなるとともに、専任コーチの選定等により、世界で活躍が期待できる選手の育成が進んだ。																
							<p>世界とつながる国際人材の育成・活躍支援 【担当部局：総務部・企画振興部・健康福祉部・環境生活部・商工観光労働部・農林水産部・教育庁】</p>					<p>【満足度】</p> <p>【今後の方向性】</p>						

【施策13】世界と熊本をつなぐヒト・モノの流れの創出

No. (5)平成30年度の主な成果	(6)問題点(隘路)・課題	(7)当該年度を含む今後の方向性
<p>施策13-①</p> <ul style="list-style-type: none"> くまモンのブランド価値向上のため、イラストの海外利用を解禁するとともに、くまモンTVの配信を開始。また、くまモンも活用し、県産品の販路拡大及び観光PRのため、中国、香港、台湾、ASEAN等においてプロモーションを実施するとともに、フランスで九州合同レセプションを開催 県産品の海外競争力強化を図るため、事業者向けの研修会等によりHACCP等の食品の安全安心な衛生・品質管理手法を普及促進するとともに、海外ハイヤーや商社と連携し、商品力強化のための商品ブラッシュアップを実施 女子ハンドボールアジア選手権の熊本開催等により、今年開催される国際スポーツ大会の認知度が向上。また、2019女子ハンドボール世界選手権大会を大成功させる会(全国)や2019国際スポーツ大会を盛り上げる会(熊本)といった応援組織が設立されるなど、民間においても大会の成功に向けた機運が高まった ハンドボールやラグビーのプレ大会、ボランティアに関する講座の開催等により、スポーツやボランティア活動に親しむ機会を提供。九州で試合を行う国に対しメディア招請、情報発信等を実施。また、出場国関係者の来訪時に各国文化に関するセミナーを開催するなど、国際交流が広がるよう取組みを推進 	<ul style="list-style-type: none"> 認知度に応じたくまモンの海外プロモーションが必要。くまモンイラストの海外利用の新制度の下で、県産品や観光のより効果的なPRや、県産品のブランド価値の向上が必要 中小規模事業者のHACCP導入を進めるとともに、多くの商品が集まる海外市場において継続的に取引されるよう商品力強化等の工夫が必要 国際スポーツ大会を成功させるため、更なる機運の醸成、受入態勢・おもてなしの充実、チケット販売の強化等が必要 大会終了後も、レガシーとして、スポーツに親しむ県民が増加し、海外からの誘客や世界各国との交流が続くよう、大会開催等の効果を県内各地域・各分野へ波及させるための更なる取組みが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 全世界に向けたアニメの制作や、認知度が低い欧・米・豪に対する継続的な海外プロモーションにより、くまモンの認知度を向上。くまモンも活用した県産品や観光のPR、ブラッシュアップによる県産品自体のブランド価値向上等により、「KUMAMOTOブランド」の世界展開を推進 関係団体や企業等と連携し、中小規模事業者を中心にHACCP導入に向けた技術的支援等を実施。さらに、海外ハイヤーや商社等と連携し、商品力・営業力を強化 子供たちに競技を浸透させ、また、機運醸成のための国内外への広報PR活動や、県民、企業、各種団体等が一丸となったおもてなしを行うとともに、県民挙げて観戦するよう取組みを強化するなど、大会を成功させるための取組みを更に加速化 大会成果をレガシーとして残せるよう、ハンドボールやラグビーの講座等によりスポーツの普及と振興を推進するとともに、情報発信、キャンペーン等により熊本等を旅行先として定着化。また、各国選手等が熊本の文化に触れ合い県民と交流する機会を設ける等により国際交流を促進
<p>施策13-②</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種研修等の実施により、英語教員の英検準1級以上相当の資格取得率は、中学校では31.8%(H29年度31.7%)、県立高校では88.2%(H29年度86.7%)に向上 海外チャレンジ塾等の実施により、海外留学・進学への意識の醸成を図った。また、世界チャレンジ支援基金を活用し、高校生、大学生、若手芸術家等54名の海外チャレンジを支援 留学生の相談に応じるワンストップ窓口など大学コンソーシアム熊本が行う留学生誘致の取組みを支援し、留学生数は増加傾向。農業アカデミーにおける外国人農業実習生等の熊本農業の理解促進のための研修を65名が受講。日本語習得・就労研修を行い、県内初となる外国人介護福祉士が誕生 留学生の県内定着を図るため、留学生・企業向けのセミナーを実施するとともに、九州内の留学生と企業をつなぐマッチングサイトを周知し、サイトへの登録を推進 2020年の東京オリンピック・パラリンピック等に出場可能性のある選手を強化指定選手として指定し、強化練習等を実施。2018アジア大会には強化指定選手8名が出場し、金メダル2個、銅メダル6個を獲得。2018アジアパラ大会には強化指定選手4名が出場し、金メダル2個、銀メダル3個、銅メダル2個を獲得 	<ul style="list-style-type: none"> “英語教育日本一”を達成するため、英語教員の更なるスキルアップを図るとともに、ALTの活用等による生徒の英語力向上に向けた取組みが必要 海外留学・進学を総合的に支援する体制の更なる充実や学校現場における海外進学ノウハウの向上を図るとともに、海外にチャレンジする若者への支援資金の確保が必要 留学生誘致に向けて引き続き関係機関と連携したPRが必要。出入国管理法等の改正により外国人の就労が拡大したことを踏まえ、外国人農業実習生や福祉人材等への効果的な支援が必要 留学生が就職に当たって必要とする情報の更なる発信や、登録者の増加に向けたサイトの利便性向上が必要。また、外国人受入れ拡大に向け、外国人との共生を図る取組みが必要 2020年の東京オリンピック・パラリンピック等により多くの本県出身の出場者を輩出するため、効果的な選手育成・強化への支援が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 各種研修等や英語教員との意見交換等を通じて英語教員の英語力・指導力を向上。さらに、中学校では英語検定等の受験への支援を、県立高校では県独自のスピーキングテストの活用促進等を通して、生徒の英語力を育成 海外留学や進学に関する説明会の拡充や、教職員研修の機会の増加や内容の充実等を実施。世界チャレンジ支援基金への寄附の増加を図ることで多くの若者の海外チャレンジを支援 留学生誘致のため、県内学校やイベントに加え、県外の進学相談会でPRを実施。外国人材の受入状況を踏まえた効果的な支援や、農業経営者として活躍できるような高度な知識の習得を支援するなど、熊本ならではの受入体制を構築 セミナー、留学生に特化したイベント等による求人・求職・県内企業情報の発信や、SNSを活用したサイトの利便性向上等を行い、留学生の就職促進。また、企業の担当者向けに外国人受入れに係る講習の実施、外国人の生活相談に係る一元的相談窓口の設置等により、外国人受入環境の向上を図る 2020年の東京オリンピック・パラリンピック等での活躍が期待できる競技者に対して集中的に育成・強化を実施